

令和8年(2026年)5月開始予定

## 地域活性構想ラボ in 青森(第1期) 募集要項

地域課題解決に取り組む人財の創出支援プロジェクト

主催



共催



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

後援

青森県

青森県商工会議所連合会

青森県商工会連合会

### 地域活性構想ラボとは

東北電力と事業構想大学院大学が連携して実施するプロジェクトです。  
事業構想に関するカリキュラムを約1年間学び、地域活性化に繋がる  
事業計画を各自策定するものです。

### 主催者メッセージ



佐々木 裕司 ささき ゆうじ  
東北電力株式会社  
取締役 常務執行役員 地域課題担当

当社グループは創立以来、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」の考えのもと、「地域社会との共栄」を経営理念に掲げ、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。「地域づくりは人づくり」という言葉がありますが、地域課題の解決には、現状を変革できる「人財」の存在が不可欠です。そして、そうした「人財」が生まれる最初の段階では、事業の全体像を描き、ゼロから生み出す構想力や実行力が必要と考えられます。「地域活性構想ラボ」は、地域活性化の「種火」を起こすために、事業構想大学院大学とタッグを組んで進める当社の新しい挑戦です。青森県を舞台に、地域の未来を描く構想計画が次々と生まれ、実現されていくことを期待しています。一緒に、地域のより良い未来の実現を目指していきましょう！

## 共催者紹介



学校法人 先端教育機構  
Advanced Academic Agency

理念

知の実践研究・教育で、社会の一翼を担う

2012年4月に東京・南青山に開学した、事業構想と構想計画を構築・実践する社会人向け大学院。事業の根本からアイデアを発想し、事業の理想となる構想を考え、実現するためのアイデアを紡ぎ、構想計画を構築していくことを対象とした多様なカリキュラムを提供しています。多彩な業界で活躍する教員・院生と議論を重ね、2年間で事業構想計画書の提出を経て、専門職学位の「事業構想修士（専門職）」（MPD: Master of Project Design）が授与されます。拠点は東京、仙台、名古屋、大阪、福岡の5校舎で計829名が修了し、数多くのイノベーションとなる新事業が生み出されています。



学校法人 先端教育機構  
事業構想大学院大学

設置者 学校法人先端教育機構  
研究科 事業構想研究科事業構想専攻  
校舎 東京・仙台・名古屋・大阪・福岡  
修業年限 2年間（授業日：平日夜間・土曜日）  
学位 事業構想修士（MPD）

新たな事業を創り上げる。



仙台校  
JR仙台駅 直結  
イーストゲートビル



東京校（青山）  
表参道駅1分  
法人本部棟



大阪校  
JR大阪駅 直結  
グランフロント大阪  
北館



名古屋校  
JR名古屋駅 直結  
JRゲートタワー



福岡校  
JR博多駅 直結  
JRJP 博多ビル



## 教員・ゲスト講師

### 担当教員

立松 博史  
事業構想研究所 客員教授

早稲田大学ビジネススクール 非常勤講師  
金沢工業大学 情報フロンティア学部 客員教授



構想計画

新規事業

事業戦略

社会分析・リサーチ

マネジメント

東京大学工学部建築学科を卒業後、(株)野村総合研究所(NRI)に入社し、コンサルティング業務に約25年間従事。NRIがシンクタンクからコンサルティング業態に変革する際に現場の最前線で活動。執行役員に就任後、クライアント企業に対するアカウントマネジメント、官公庁向けのコンサルティング事業の強化、コンサルタントの人事制度改革、ITソリューション事業とコンサルティング事業の融合などに従事し、NRIのコンサルティング事業全体の総括責任者となる。また、不動産クラウドファンディングやDXサービス等の合併会社の立ち上げを実施。現在は、大学での教育、研究活動に加えて、大手企業の外部経営委員、上場前のベンチャー企業の顧問等を務める。一級建築士資格を保有。

### 専門性の高い多彩なゲスト講師

各分野における最新事例・第一人者(官公庁・有識者・実践者)とのネットワークを構築しています。本プロジェクトにおいて、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



ヘルスケア



イノベーション



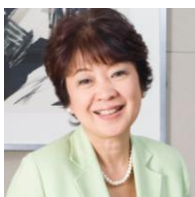
コミュニケーション



思考法



事業戦略



経営戦略



公民共創



思考法



マーケティング



テクノロジー



経営戦略



地域デザイン



イノベーション



地域活性

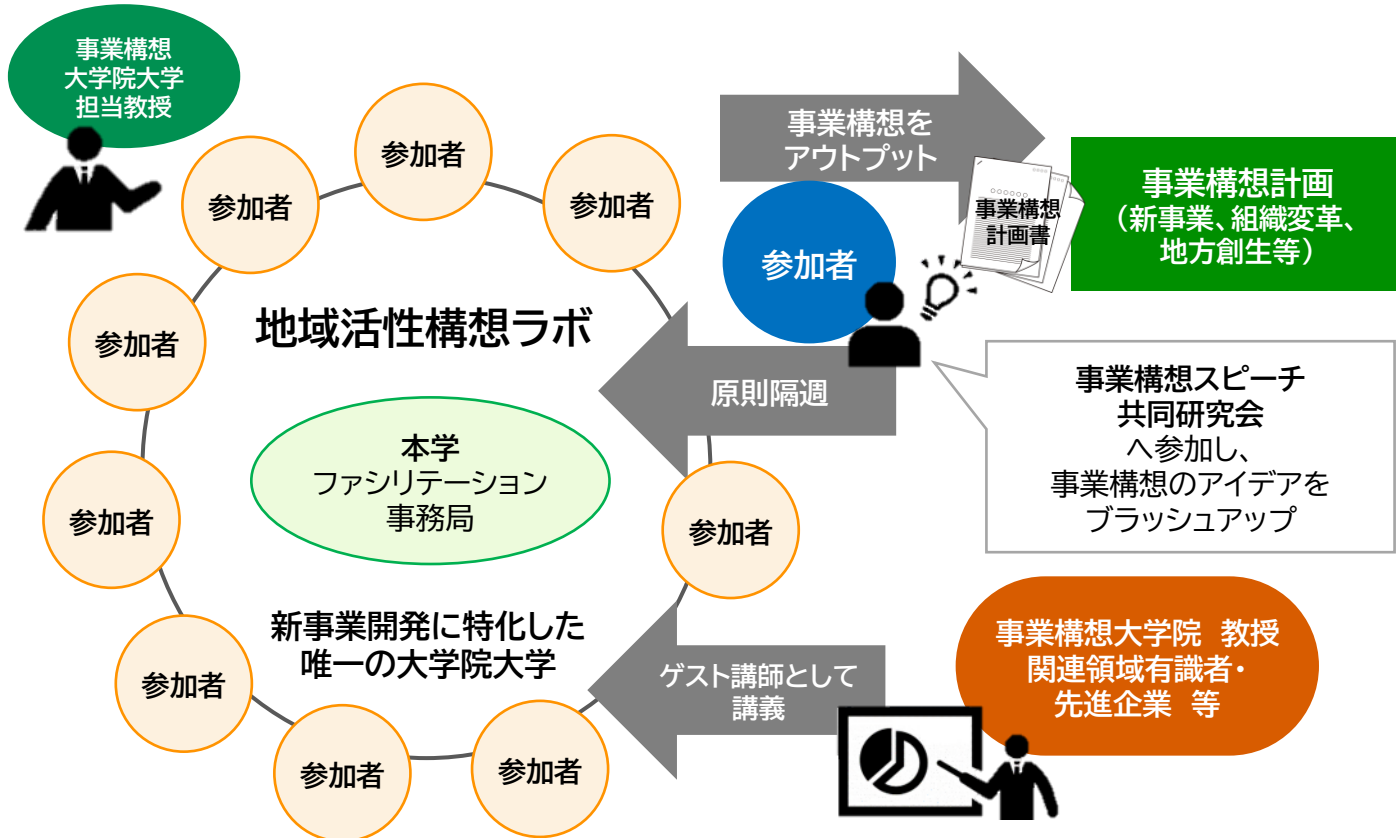


脱炭素



## プロジェクトの概要

参加者・大学院教員・ゲスト講師 三位一体のイノベーションコミュニティ



## プロジェクトの概要

### ○プロジェクト参加者が新たな事業を構想する約1年間

事業構想大学院の修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、参加者自らがアイデアを発想し、自社や地域社会に新たな価値を生み出す事業を構築する1年間のプロジェクトです。

### ○1人の担当教授と10名程度の研究員で構成

ラボは、10名程度の参加者で構成し、担当教授が1年間を通じてコーディネートとファシリテーションを行い、参加者の知見を高めながら推進していきます。

### ○年間24回の定例会を開催(1回4時間)

ラボの定例会は、1回4時間、年間24回開催。多彩なゲスト講師を招き、参加者の視野を広め視点を磨きながら、各自の知の探索を通じた事業構想を構築していきます。また、定例会以外にも、構想構築に役立つ様々な機会・ツールを活用いただけます。

### ○「プロジェクト研究員」という資格を付与

参加者は非常勤(雇用関係なし)で、日常の仕事に就きながら、ラボに参加します。社会的に中立な研究員という立場で、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。大学院附属研究所の研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。

## 本プロジェクトの目指すもの

### 新たな事業構想の構築と、自ら考え自ら育つ人財の育成

変化の激しい現代社会においては、

未来を見据えた新しい事業を構想する力が求められています。

本プロジェクトは、本学独自のMPD(事業構想)カリキュラムを活かして、

参加者自らが事業の根本のアイデアから発想し、理想となる事業構想を考え、

実現可能になるようにアイデアを洗練させ、構想計画を構築することを目的とします。

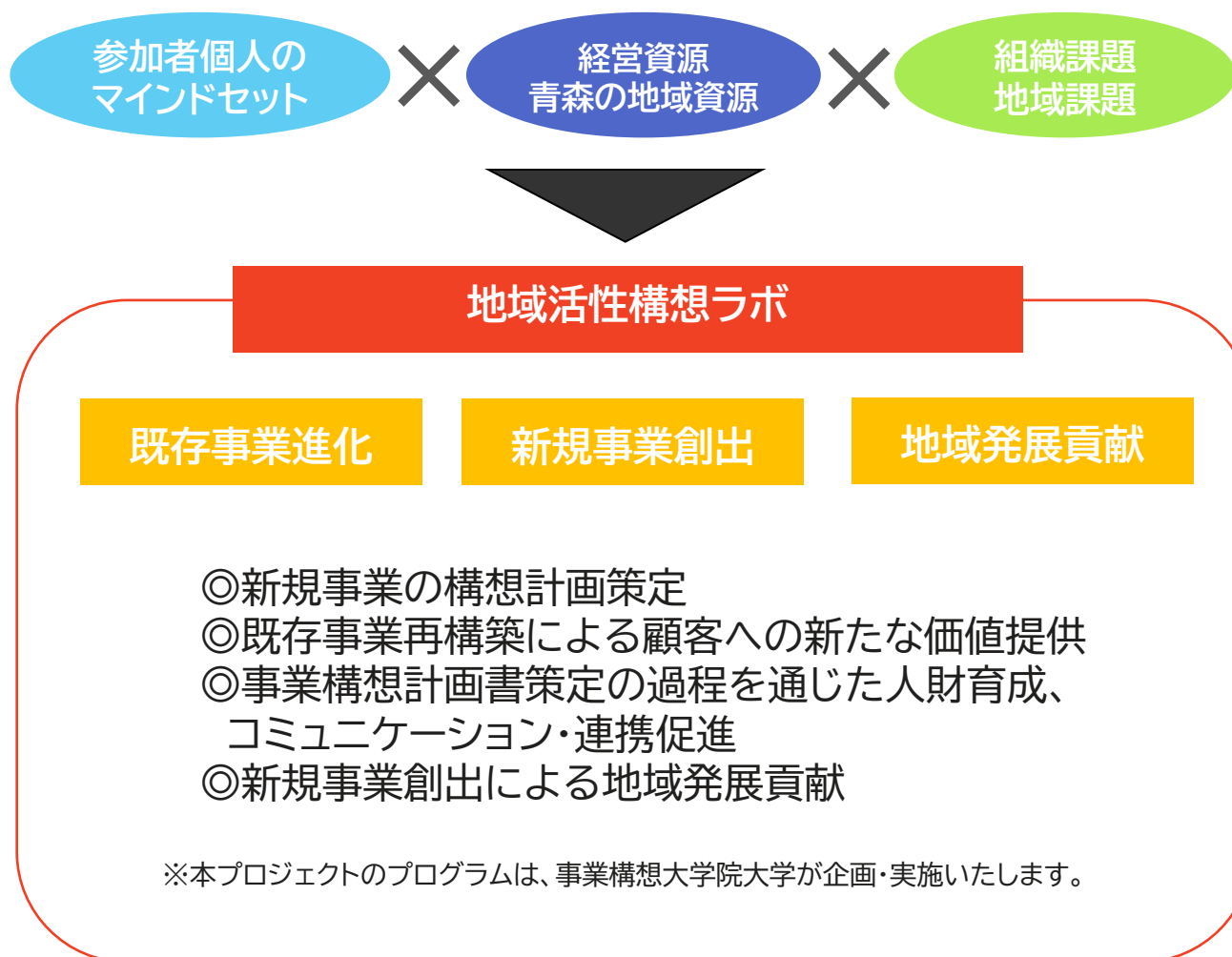
### 本気で考える。ロイヤリティからエンゲージメントへ

自育(自ら育つ)のためには、本気で考えることが重要です。

本気で考えれば、気づき、探索し、あきらめずにできる方法を考え抜いていきます。

本学のプロジェクトは、本気で考え、社会変化を捉え、自社の経営資源を洞察し、

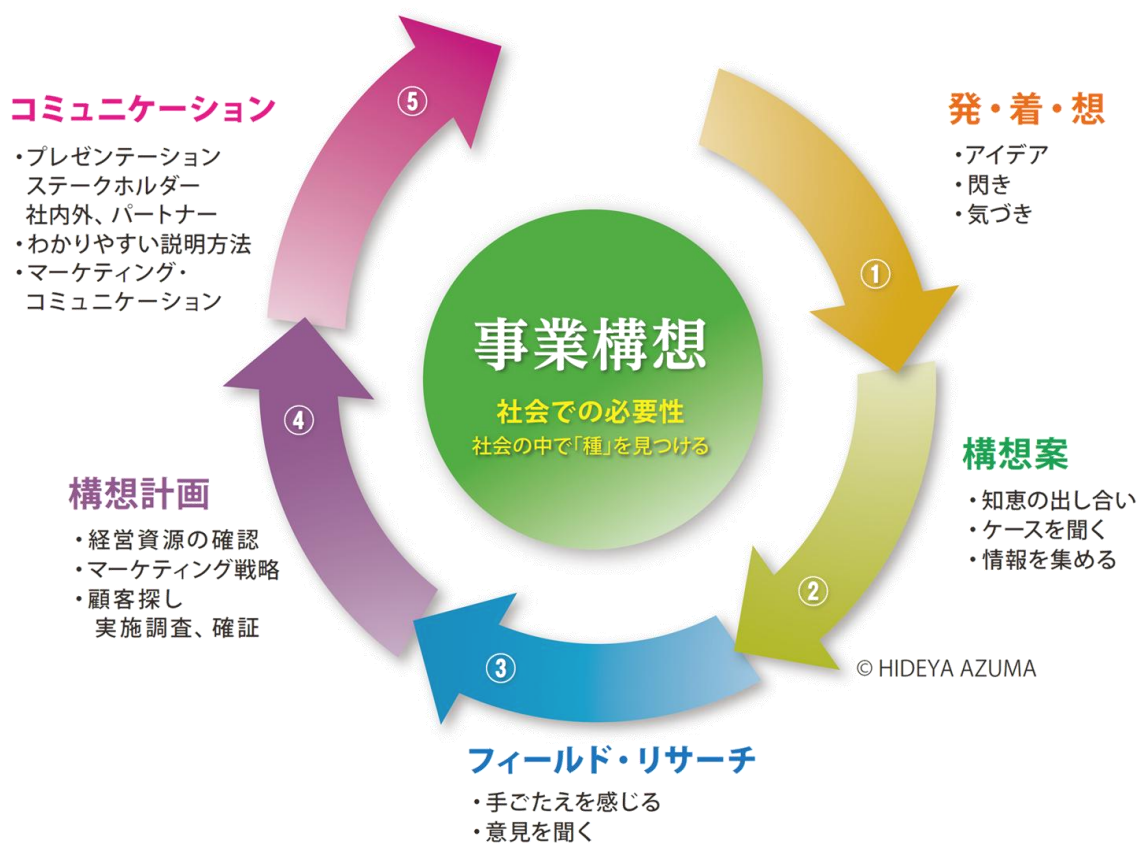
新たな事業構想を生み出していきます。



## 事業構想とは

あらゆる組織に求められるものは、構想です。

構想とは、理想の姿の構築であり、構想と構想計画を考え、実現することで企業、地域、そして社会に新たな価値が創出されます。



## 事業構想で未来をつくる

1. 理論と実践を高めるカリキュラム
2. 専門性と多様性のある教員・多彩なゲスト講師
3. クリエイティブな研究環境
4. 事業構想計画書の策定

## プロジェクトの特徴

### ◎ラボのイメージ

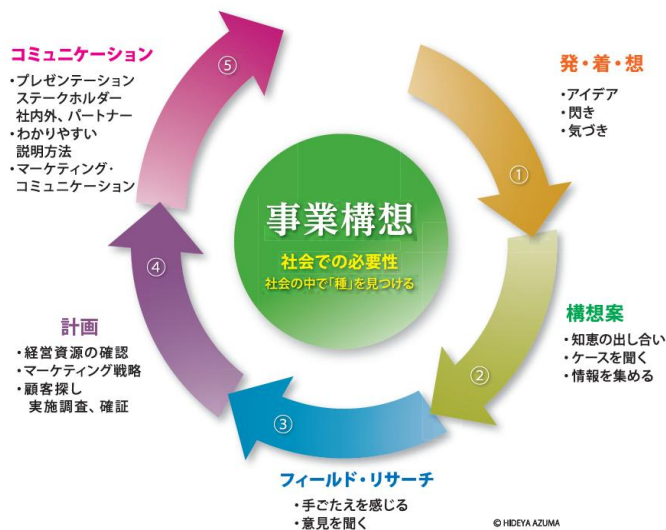


ラボは単なる座学ではありません。仲間とのディスカッションや自らのアイデアを発表する機会が豊富にあります。互いに刺激し合いながら充実した学び得て、新しいアイデアを形にしていきます。ここでの経験が、未来の事業構想を描く力となります。



### 【事業構想サイクルを実践的に学ぶプロジェクト】

実現したい理想の社会を想像することからスタートし、事業構想サイクル『①事業アイデアを生み出す ②実現可能な構想へと発展させる ③リサーチを行う ④より具体的な構想計画を構築 ⑤それらを実現するために必要なコミュニケーション/プレゼンテーションを行う』を研究会を通じて実践します。



### 【様々な分野の第一人者とのネットワーク】

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、最新事例、第一人者(官公庁・有識者・実践者)とのネットワークを構築しています。本プロジェクトにおいても、ネットワークを活用し、ゲスト講師として様々な有識者や実践者を招へいたします。





### 地域活性構想ラボは研修ではありません

ゴール設定に基づいたカリキュラムが組まれ、教わって終わりの講義形式中心の研修とは異なります。刺激、知識提供により、広い視野を持ち、アイデアを考え、ディスカッションし、探索し、対象顧客の真の声を聞き、事業構想を作り上げていきます。

プロジェクト実施期間

- 定例会 4時間×24回
- フィールドリサーチ実践
- 会員制データベース・アーカイブ
- 月刊「事業構想」「先端教育」オンラインID付与(1年間)

研究員資格により  
参加可能  
(オプション)

- 「事業構想事例研究」受講(年間約40回)
- 個別相談(随時)
- 共同研究会(隔月開催)
- 企業視察

### 事業構想計画書

修了後

#### モチベーション・ネットワーキング

共同研究会

定期セミナー

アルムナイ(任意)

#### オプション

個別相談

「月刊事業構想」購読

## カリキュラム構成

【期間】 令和8年(2026年)5月-令和9年(2027年)2月

【時間】 24回(原則隔週 1回4時間) 共同研究会は任意参加

【場所】 青森県観光物産館アスパム等・オンライン

SEQ	開催日	曜日	開始時刻	終了時刻	所要時間	分類	内容	開催場所
1	2026/05/21	木	13:00	17:00	4:00	第1 クール	オリエンテーション	アスパム(南部)
2	2026/06/04	木	13:00	17:00	4:00		地域活性化と事業構想	アスパム(南部)
3	2026/06/18	木	13:00	17:00	4:00		技術動向と事業構想	アスパム(南部)
4	2026/06/19	金	9:00	13:00	4:00		事業構想とクリエイティブ発想法	アスパム(南部)
5	2026/07/02	木	13:00	17:00	4:00		事業構想概論(1)	アスパム(南部)
6	2026/07/16	木	13:00	17:00	4:00		事業構想概論(2)	アスパム(南部)
7	2026/07/30	木	13:00	17:00	4:00		アイデアプレゼンテーション	アウガ(研修室)
8	2026/07/31	金	9:00	13:00	4:00	第2 クール	事業構想概論(3)	アウガ(研修室)
9	2026/08/20	木	13:00	17:00	4:00		ビジネスモデル	アスパム(南部)
10	2026/09/03	木	13:00	17:00	4:00		コ・クリエーションの考え方	アスパム(南部)
11	2026/09/10	木	13:00	17:00	4:00		マーケティング戦略	新町キューブ (貸会議室)
12	2026/09/11	金	9:00	13:00	4:00		事業戦略フレームワーク	新町キューブ (貸会議室)
13	2026/10/01	木	13:00	17:00	4:00		中間プレゼンテーション	アスパム(南部)
14	2026/10/08	木	13:00	17:00	4:00	第3 クール	事業構想案の見直し/経営資源	アスパム(南部)
15	2026/10/22	木	13:00	17:00	4:00		事業構想計画の立案	アスパム(南部)
16	2026/11/05	木	13:00	17:00	4:00		ファイナンスの基本と収支計画の考え方	新町キューブ (貸会議室)
17	2026/12/03	木	13:00	17:00	4:00		地域を巻き込んだ事業推進体制	アスパム(南部)
18	2026/12/17	木	13:00	17:00	4:00		構想案発表と見直し	アスパム(南部)
19	2027/01/07	木	13:00	17:00	4:00	第4 クール	事業構想計画立案	アスパム(南部)
20	2027/01/21	木	13:00	17:00	4:00		中間確認レビュー	アスパム(南部)
21	2027/02/04	木	13:00	17:00	4:00		事業構想計画立案	新町キューブ (貸会議室)
22	2027/02/05	金	9:00	13:00	4:00		プレゼンテーション・トレーニング	新町キューブ (貸会議室)
23	2027/02/18	木	13:00	17:00	4:00		事業構想計画立案	アスパム(南部)
24	2027/02/25	木	13:00	17:00	4:00		事業構想計画発表会	アスパム(南部)
-	2026/07/15	水	15:00	17:00	2:00	共同 研究会	事業構想事例研究と意見交換	東京校・オンライン
-	2026/09/17	木	15:00	17:00	2:00		事業構想事例研究と意見交換	東京校・オンライン
-	2026/11/13	金	15:00	17:00	2:00		事業構想事例研究と意見交換	東京校・オンライン
-	2027/01/19	火	15:00	17:00	2:00		事業構想事例研究と意見交換	東京校・オンライン

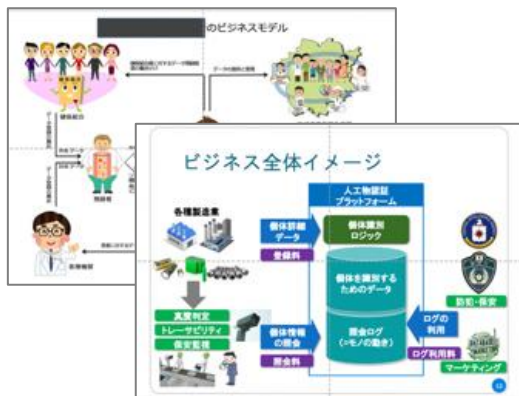
※スケジュール・各回のテーマは変更の可能性があります。

## 事業構想計画書構成例

定例会を中心に個別指導も受けながら、各参加者が1人1つずつ、「事業構想計画」を策定します。

### 事業構想計画書の構成例

- 事業の概要(エグゼクティブサマリー)
- 対象顧客
- 商品・サービスの定義と顧客への提供価値
- 内外環境分析(背景、経緯、市場予測等)
- 具体的事業内容
- フィールド・リサーチの結果
- 顧客の獲得方法(マーケティングプランや営業方法)
- 組織体制、協同先
- 投資規模、収支計画
- 事業化へ向けた課題と解決案(仮説で可)
- リスクマネジメント



## 募集要項

### 期間

全24回(令和8年(2026年)5月21日(木)～令和9年(2027年)2月25日(木))

### 定員

10名程度(最少開講人数10名)

※人数に達しない場合は開催を延期させていただく可能性があります。

※ご応募いただいた内容をもって選考させていただきます。

※選考の結果は、参加可否を問わず2026年4月15日(水)までにご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

### 会場

・青森県観光物産館アスパム会議室等(青森市安方1-1-40 JR青森駅東口から徒歩8分程度)

・アウガ(青森市新町1-3-7 JR青森駅から徒歩5分程度)

・新町キューブ(青森市新町2-6-25 JR青森駅から徒歩9分程度)

・オンライン(Microsoft Teams)

※原則、会場での対面受講ですが、状況に応じてオンライン受講も可能です。

### 対象

- 青森県内にお勤め、お住まいの方
- 本プロジェクトで得た学びを実践し、「地域をより良くしたい」という強い想いをお持ちの方
- プロジェクト日程の9割以上に出席可能な方

上記をすべて満たす方であり、以下のいずれかに該当する方が対象です。

●地元企業の経営者・会社員、個人事業主、社会起業家(業種・企業規模は不問)

・地方創生・地域活性化に関心のある方

・自社事業を通じて地域活性化したい方

・自社で新規事業を立ち上げたい方

・企業の承継予定者

・事業、社会活動の幅を広げたいと考えている方

・これから社会起業に取り組もうと考えている方 など

●自治体・経済団体・NPO法人職員

・新規事業支援担当者

・まちづくり担当者

・行政改革担当者

・現状を改善してより良い地域社会としたい方

・これから社会起業に取り組もうと考えている方 など

### 申込期限

令和8年(2026年)3月31日(火) ※定員に達し次第お申し込み締め切りとさせていただきます。

### 必要書類・申込方法

以下の応募フォームからご確認のうえお申し込みください。(二次元コードからもアクセス可能です)

[https://share.hsforms.com/1i2xvGiBGR9ixaHJmU\\_xrQAcojpk](https://share.hsforms.com/1i2xvGiBGR9ixaHJmU_xrQAcojpk)

研究会登録番号は 4001 とご入力ください。

「助成金・給付金の利用について」の項目は 使用していない を選択してください。



### 参加費

無料

※会場までの交通費及び宿泊費は自己負担となります。

※各回、ご自身のPC(タブレットでも可)を持参の上、ご参加ください。

主催:東北電力株式会社

共催:学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

後援:青森県、青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会



## 事業構想大学院大学事業構想研究所 研究員の資格(1)

参加者には、下記のとおり事業構想大学院大学 事業構想研究所の研究員の立場が付与されます。

### ◎研究員証



### ◎名刺



### ◎個別相談



### ◎事業構想事例研究(年約30回開催)



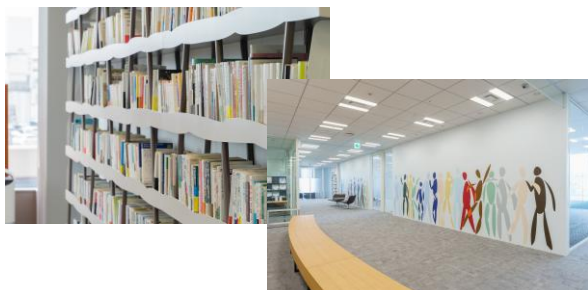
### ◎他プロジェクトとの共同研究会



### ◎アルムナイネットワーク



### ◎大学院環境(図書館・サロン)の活用



- ・履歴書に研究員の経歴が記載できます。
- ・また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証が授与されます。
- ・名刺、身分証の発行・貸与。
- ・大学院主催「事業構想事例研究」への参加。
- ・図書室やサロンなどの施設の活用。
- ・オンラインデータベースの利用。
- ・アーカイブ視聴。
- ・希望により学会発表、メディア掲載申請が可能。
- ・担当教授に随時相談可能。

## 事業構想大学院大学事業構想研究所 研究員の資格(2)

### ◎企業視察



研究員の状況を考慮し、AI、XR、ITベンチャーなどの企業や、最先端テーマの施設などの視察訪問を行い、その場で、経営陣や事業責任者との講義や対話を実施しています。異なった環境を直に肌で感じることで、大きく問題意識が変化していくことも多々あります。

### ◎フィールドリサーチ・実践



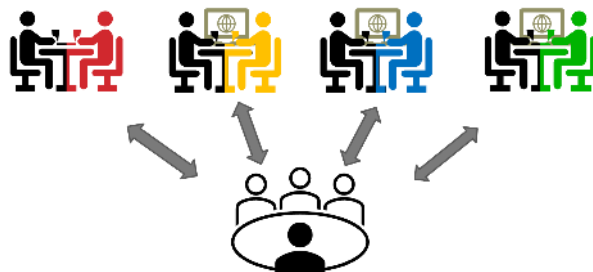
フィジビリティスタディだけではなく、本当にその構想案が実現できるのか、研究員の立場を活用し、想定顧客に仮説営業を実施しています。正解は顧客の中にある。しかし、顧客自身も正解を知っているわけではありません。ヒアリングにとどまらず、仮説営業を実践しています。

### ◎合同研究会(オンライン参加)



全国で多くのプロジェクトが随時実施されています。特に1社型プロジェクトでは、事前の相談に基づき、他の1~2つのプロジェクトとの合同研究会もしております。時期、業種、参加者の特性を考慮し、テーマ設定を行い、時間を掛け議論することで、互いに新たな発見をいただいています。

### ◎サーカス形式研究会



担当教員以外に本学の多様な教授陣5~7人が参加し、研究員は順に1対1で複数の教員と構想案等の壁打ちを行います。様々な切り口のアドバイスで、ブレイクスルーのきっかけとなっています。

## 修士課程 授業科目・事業構想事例研究 (任意参加／会場校舎・オンライン参加可)

- 平日19～21時(日時不定期)に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

登壇者例(※所属・役職は登壇当時のもの)



Twitter Japan  
笹本裕社長



三井住友フィナンシャルグループ  
中島達 取締役 執行役社長



クレティセンサー  
林野宏 社長



タニタ・谷田千里社長



メニコン 田中英成社長



JR九州  
会長・唐池特別招聘教授

## プロジェクト研究共同研究会(参加推奨／会場校舎・オンライン参加可)

- 組織・プロジェクトの枠を超えた共創を行うための共同研究会を定期開催。(年6回実施)
- 全国のプロジェクトの参加社との交流、また修了後の構想の発表・ディスカッションの機会となります。



## 個人情報の取り扱いについて

本大学院が申込書類を通じて取得する個人情報は以下を目的として、事務局・担当教員が利用致します。

- ①参加手続き
- ②本大学院からのお知らせ
- ③これらに付随する業務を行うため

### 問合せ先

<仙台校>

〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル7階

TEL:022-257-8411

担当:木村



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

東京・名古屋・大阪・福岡・仙台